

## 進化した新版国語デジタル教科書のご紹介

光村図書出版株式会社 企画開発本部 高橋 圭祐  
キーワード：デジタル教科書、国語、電子黒板

### 1. はじめに

光村図書は 2005 年に初めて教科書に完全準拠した指導者用国語デジタル教科書を世に送り出した。文部科学省の「学校 I C T 環境整備事業」と相まって、現在では 3000 校近い学校に導入され、日々の授業で実践されている。

一方、2010 年からは児童生徒一人一台の情報端末に対応した「デジタル教科書」構想が話題になり、未来の教室や教科書像が盛んに議論されるようになってきたが、学校現場の実情を考えると、一足飛びの改革は容易ではないことが予想される。

本企業発表では、2005 年以来活用されてきた指導者用デジタル教科書の成果や効果を振り返るとともに、学校現場の要望を踏まえ、より進化した新しいデジタル教科書について紹介する。

### 2. 国語デジタル教科書の活用とその効果

国語デジタル教科書は、「学習情報の共有化（注1）」をねらいとして開発された指導者用ソフトウェアである。実際の活用方法はさまざまであるが、主なものを集約すると以下の通りである。

- ・文章や挿絵の「拡大」による学習の焦点化やイメージ化
- ・教科書と同じ画面への「書き込み」による学習の焦点化や視覚化
- ・教材のねらいに対応した「参考資料」を使用した学習の補充・発展

これらの活用から、以下の効果が報告されている。

- ①学習意欲の向上
- ②低位層児童に対する学力（理解力）向上
- ③話し合い活動の活性化
- ④学年を超えた活用による系統性の意識化

（注1）「学習情報の共有化」とは、教師の指示や児童の意見等のやり取り情報をクラス全員で共有（確認）することを指す。

### 3. 新版デジタル教科書改訂のポイント

学校現場からの声としては、「現行の仕様（レイアウトや機能）から、大きく変えないで欲しい」というものが圧倒的であった。その上で要望を集約し、新たな機能・映像などを追加した。

#### ①保存機能

授業の継続性を重視し、過去に書き込みを行ったものを保存できるようにした。

#### ②移動機能

巻物のように左右に移動できるようにすることで、紙の教科書ではできなかった、ページをまたがった

文章構成を一画面で見られるようにした。（写真1）

#### ③特別支援教育への対応

特別な支援を必要としている児童に総ルビ、文の強調、白黒反転表示の機能を追加した。

#### ④「話す・聞く」領域での言語活動実映像資料

紙の教科書では表現しづらい「話す・聞く」活動については、動画資料を用意し、態度や姿勢を確認することができるようにした。（写真2）

#### ⑤古典教材に関連した映像資料を用意

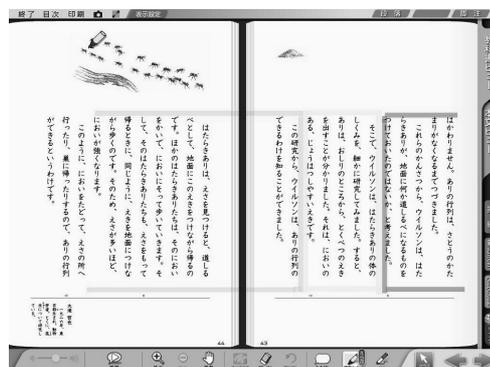


写真1 移動機能



写真2 言語活動の実映像資料

### 4. おわりに

学習者用デジタル教科書などの話題が世の中を賑わせているが、教育の I C T 化の着実な進歩のためには、まずは1教室に1台の電子黒板と指導者用デジタル教科書が整備されることが必要と考える。

4月には、小学校の教科書改訂に伴い、多くの教科書会社から各教科の指導者用デジタル教科書が発行される。教科の特性に合わせて、さまざまな工夫がなされるはずである。

そして、近未来の教室において学習者用デジタル教科書が一般化したとしても、教科書のコンテンツそのものは色あせることはないだろう。また、情報化社会の中で、親子で読み継がれていく文化としての教科書の存在はますます重要になっていくと考えられよう。